

「はたらくるま」の見学会を実施！

中部技術事務所

災害時に活躍する様々な「はたらくるま」の見学会を実施しました。近隣の保育園児36人を含む約70名が参加し、普段なじみが少ない特殊な機械の試乗、ショベルカー模型の操作などを体験していただきました。

■日時：平成25年8月7日 ■参加者：68名
■見学・説明機械：無人化施工バックホウ、対策本部車
待機支援車、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車
クレーン車、地中レーダー探査車、投下型水位計
■取材：中日新聞、建通新聞、建設通信新聞

無人化施工バックホウ

危険な箇所では、リモコンで操作ができます。試乗体験も行いました。



照明車

夜間作業時に、明かりを照らします。
操作体験を行いました。



対策本部車

14畳の広さになって現場の本部になります。
車内でショベルカー模型の操作体験を行いました。



待機支援車

災害時には、休憩・仮眠スペースになります。
見学会では、休憩所として利用しました。



衛星通信車

離れた場所のカメラ映像をモニターで見られます。
普段見られない車内も案内しました。



パネル展示

中部地方整備局の活動を
パネルで展示・説明しました。

